

第3回企画委員会における委員意見に対する対応

No.	意見要旨	対応
1	淡路の「どのような」魅力を、淡路の「どのような」素晴らしさを磨き上げ、レガシーとして継承していくのかという部分の共通概念や言葉をしっかりと考えていった方がよい。(古田委員)	【ご意見を踏まえ対応】 開催理念(実施計画P13参照)の整理を基本としつつ、継承していくレガシーの個別具体的内容は、イベントの詳細設計時に丁寧に検討
2	・花と緑がいつでも楽しめる大規模花壇というのは、「何か細工をしているのではないか」、「土壌のことを考えているか」、持続可能性から、これで良いのかという視点に対して答えられるようにしていただきたい。(古田委員) ・お花を見るだけでなく、お花とつながりのある土壌や、それらも含めて全ての自然の生命みたいところに思いを馳せられる事業というのは難しいかもしれないが、それをやるのがこの大きなお金をかけてやる事業だと思うので、ぜひそのところはもう一度きっちり考えていただきたい。(古田委員)	【既に対応済】 公園における大規模花壇は、季節に応じて連作障害を考慮した多科の草花を多種類植え替えることや、施設内で発生した枯損木、除草残渣等を堆肥化・すき込むことによる土壌の物理性・理科学性の健全化を図るなど自然のサイクルにより対応しており、燻蒸や農薬等に頼っていないことを確認済
3	・大規模緑化・大規模花壇は、もうそろそろ終わりにしないとイケない。次に、どのような形でボタンタッチしていけばいいのか示唆を示すことが重要だ。(中瀬委員長) ・世界的な潮流、世の中は変わってきているということを知って帰ってもらうことも大事だと思う。(三井委員)	【ご意見を踏まえ対応】 大規模花壇も人気があることから魅力の1つとして発信しつつ、来場者に世界の潮流や自生種・在来種による修景の意義・魅力を伝えるイベントを行う
4	・大規模花壇は魅力。自分も訪れて写真を撮って発信している。単純に、「期間中にまた来たい、次はまた誰かを連れて来たい」、わくわくドキドキするコンテンツをたくさん用意して、自然にSDGs的な発想を感じてもらえるように持っていけるのが理想。(田中委員) ・大規模花壇は永遠に不滅だと考えている。(入谷委員)	
5	・自生種緑化のガーデンについては時期的に枯れた姿になる。自生種っていうものを打ち出していいのか、淡路の自然の風景というものを打ち出すか、言葉の選び方は相談して決めた方がいい。(光成委員) ・自生種で一番身近にあるのが景観園芸学校の前の広場にある盆景。そうしたものを集めてパネル展示するのも一つの自生種緑化の一つの体。決して新しいことではなくて、そこら辺につくられているものを紹介してはどうか。(中瀬委員長)	【ご意見を踏まえ対応】 パネル展示や映像を中心に、自生種・在来種の修景を紹介する。内容については、中瀬委員長や景観園芸学校とも相談しつつ今後検討
6	チームラボの体験が「命」を考える機会になるのか、もっと考えてほしい。今の子供は魚と言えばスーパーに売っている切り身を思い浮かべる。切り身が動き出してもそれは命とは言えない。(古田委員)	【ご意見を踏まえ対応】 自由に絵を描かせるのではなく、「動物の下絵」に色塗りをするコンテンツとする。自ら作成したものが、命あるかのように動き出す姿を楽しむことができる。
7	次代を担う人材という意味で、造園技術とか志す学生とかの展示を考えてはどうか。(入谷委員)	【ご意見を踏まえ対応】 農林業関係の課程を学ぶ高校生のグループによる花壇展示を検討
8	・サテライトもすごくいいが、どこに行っているのか分からない。あまり欲張りすぎず、「結局花みどりフェア2025は何だったの?」と言われた時に、何かゾーンと残っているものがあるような企画にしてはどうか。(田中委員)	【ご意見を踏まえ対応】 期間中の土日に、国営の芝生広場を中心に、メインとなるイベントを設定。これらを主に広報しつつ、サテライト会場のページもHPに作成するなど、見たい人に、見たい情報が迅速に届けられるよう工夫を行っていく。
9	・メインの会場にできるだけ集約をして、そこに行けばいろんな淡路の良さが体験できて、当然お花畑も見られて、ということで満足度が上がる。じゃあまた別のシーズンに来ようよというふうにするべき。メインの会場でガツンとインパクトのあるものをぜひやっていただきたい。(高木委員) ・分散するとメインがぼやける。サテライト会場の方にメイン会場でいろいろなやりたいことをやっていただいて、次に来た時にサテライト会場に足を運んでいただくというような流れが作れたらいいのでは。(堀内委員)	【ご意見を踏まえ対応】 例えば吹き戻し制作体験、線香づくり体験のブースを設ける等、大きなイベントに合わせて淡路の良さをPRすることを想定している。委員ご指摘の方向で今後詳細設計時に検討
10	・大イベントはメイン会場でもやってもいいけど、やっぱり淡路島の人々の意思でしている、自分達が主役だ、ということで楽しんでもらえるようなことをどううまくもっていくか。それぞれ住民参加型で住民が主導しながらサテライトを運営してやっていくのも結構面白い。(中瀬委員長)	【ご意見を踏まえ対応】 親子寄せ植え体験や竹アートづくりなど、住民参加型のイベントを検討。加えて、7月から県民提案事業を募集開始予定。
11	淡路には楽しめる魅力が点在しているので、それらをつなぐものがイベントだけでなく交通手段等も含めて考える必要がある。(光成委員)	【ご意見を踏まえ対応】 交通輸送対策も兼ねて、北淡路及び南淡路の周遊きっぷの割引発行を検討しており、島内の周遊を促進していく。
12	会場で見られるものだけではなく、それが育てられ、作られている場所とかも見られるイベント・ツアー的なものがあった方が、より魅力が伝わるのではないかと。(光成委員)	【ご意見を踏まえ対応】 今後旅行者等とも相談して検討
13	開催期間が春のみなので、四季を通じた魅力を動画を活用して伝えていけるとよいのでは。(田中委員)	【ご意見を踏まえ対応】 淡路の自然展等、島内の四季折々の花修景の魅力等を発信する企画を検討
14	体験もので予約が必要なものについては、島博と予約の仕組み等をそろえるなどお客様が混乱しないように仕組みを構築していきたい。実は並行して動いているものが違う見え方にならないように作り上げたい。(高木委員)	【ご意見を踏まえ対応】 今後島博事務局や関係事業者と調整しながら検討
15	他の花博も関係者以外にあまり知られていない。いかに知ってもらえる広報をおこなうか。(三井委員)	【ご意見を踏まえ対応】 交通輸送対策も兼ねて、日帰り・宿泊旅行者双方に効果的に広報を行う他、SNS、関空でのPRや高速の垂れ幕など、様々な方策で広報を実施